クオーツ

取扱説明書番号
M448 - RXXX

RHYTHM

報時付掛時計　取扱説明書

～ 製品の特長 ～

●毎正時になると鳥が動き、鳴き声の数で時刻をお知らせします。

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

製造発売元 リズム時計工業株式会社
本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

（Y1404）

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差　±20秒　(常温中のクオーツ精度)
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
使用電池	単2形黒マンガン乾電池　JIS規格　R14PU 1.5V 2個 または単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14　1.5V 2個
電池寿命	約1年　報時：1日当たり17回　音量：中位
報時機能	毎正時に報時
報時精度	表示時刻に対して±30秒
報時音	電子音
音量調節	ロータリー式ボリューム
報時ＯＮ/ＯＦＦ	スライド式スイッチ
暗所自動鳴り止め	明暗センサーに連動して暗くなると報時を停止
振り子	装飾用

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

振り子	1個	木ねじ	1個	電池	2個
取扱説明書	本書	保証書	1枚		

お問い合わせ先　お客様相談室　フリーダイヤル **0120-557-005**
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。
例　4MJ○○○

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池をショートさせない。　●電池を充電しない。　●電池に傷をつけない。
●電池を分解しない。　●電池を加熱しない。　●電池を火の中に入れない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●電池から漏れた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●時計と電池を分別して廃棄してください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解や改造をしない
故障の原因になります。

落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

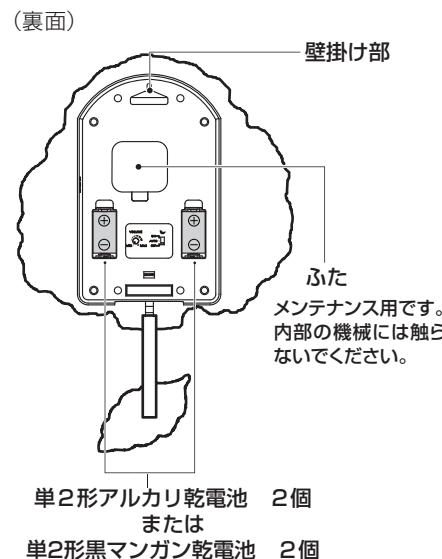
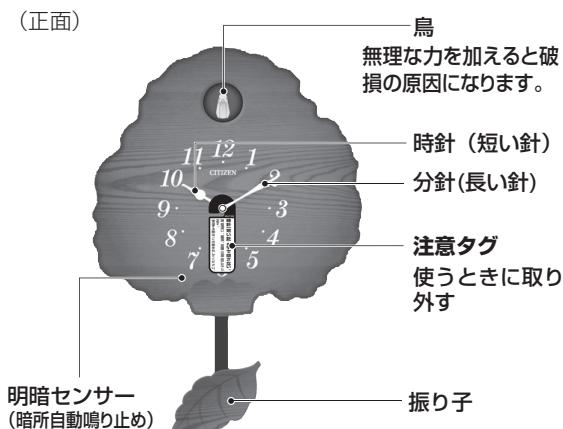
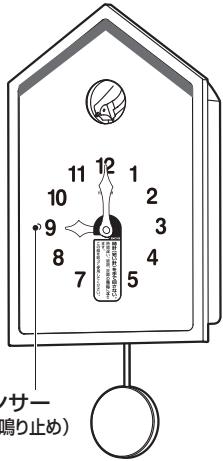
●直射日光が当たる所。
●温度が＋50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●暖房機器などの乾燥した風が当たる所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プールや温泉場など、ガスの発生する所。
●調理場など、多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

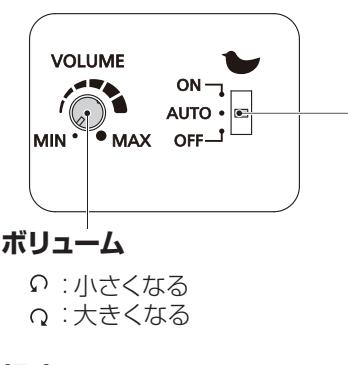
電池のご使用上のポイント　**正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス（＋）、マイナス（−）を間違えない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

同一機能商品例

※商品によっては前面を透明カバーで保護しているものがあります。時計を使用する際は、取り外してください。

ボリューム

↶：小さくなる
↷：大きくなる

報時スイッチ

ON　：**毎正時に報時**
AUTO：**毎正時に報時**
　　　　暗くなると自動鳴り止め
OFF　：報時しない

【振り竿のロック解除】

下部から指を入れて、振り竿を矢印の方向に押して解除します。

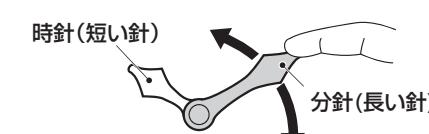
ロックまたはロックを解除するときに固いときには、少し力を入れて操作してください。

※時計を使用するときは、必ずロックを解除してください。ロックの状態で使用すると電池の消耗を早めます。

※輸送する際は必ず振り竿をロックしてください。

【時刻の合わせかた】

分針をゆっくり回して、時刻を合わせます。

⚠注意

時針には触れない

禁止　時間違い、破損、故障の原因になります。

明暗センサーのはたらき…………………暗所自動鳴り止め

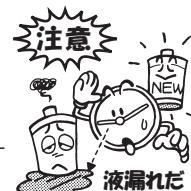
報時スイッチがAUTOに設定されているときに機能します。
明暗センサーが明るさを感知して、暗くなると報時を停止させます。
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

電池の交換について

⚠注意　電池からの液漏れにより、**時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。**

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、すぐに新しい電池を交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※電池は報時を使用しないと長持ちしますが、液漏れが発生しやすくなりますので、定期的に交換してください。

■ 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

時計の使用方法

❶ 注意タグや包装部材を取り外す

❷ 振り竿のロックを解除する

❸ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる

正しく入れると鳥が1回だけ動いて鳴き、時計が動き始めます。
※電池を短い時間に着脱を繰り返すと鳥は動きません。
※電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

❹ 分針（長い針）を指でゆっくり回して時刻を合わせる

※針を回している間の報時は、表示時刻と報時数が合わなくなることがあります。
※分針を正時に合わせてから、分針を逆に回して時刻を５３～５９分に合わせた場合、直後の正時に報時をしません。次の正時から正しく報時します。

❺ 報時スイッチを設定する

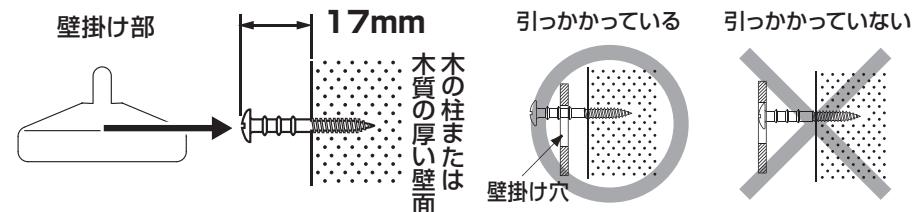
報時スイッチをＯＮにすると毎正時になると鳥が動き、鳴き声の数で時刻をお知らせします。ＯＦＦにすると鳴りません。
○報時の音量は、ボリュームで調節してください。
○報時を開始するときと報時後に小鳥のさえずりが流れます。

❻ 時計を掛ける

⚠注意　**時計が落下するとけがや破損の原因になります。次のことをお守りください。**

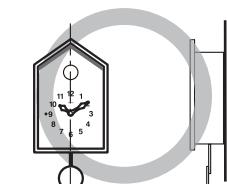
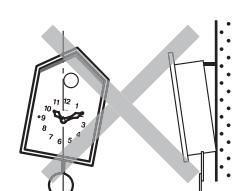
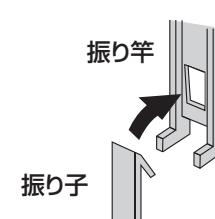
○時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。
○時計を垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けてください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、**粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

時計は垂直に掛けてください

良い例

悪い例

※垂直に掛けないと振り子が止まったり、動きが不規則になったりします。

❼ 振り子を取り付ける

時計を掛けてから振り子を取り付けてください。
時計正面側から振り子を振り竿に掛け、軽くゆらしてください。

※扇風機やエアコンなどの風が当たると振り子が正常に揺れないことがあります。

⚠注意

時計を壁から取り外すときは、先に振り子を取り外す

必ず守る　振り子が落下すると、振り子や家具などが損傷するおそれがあります。